Copyright © 2013 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

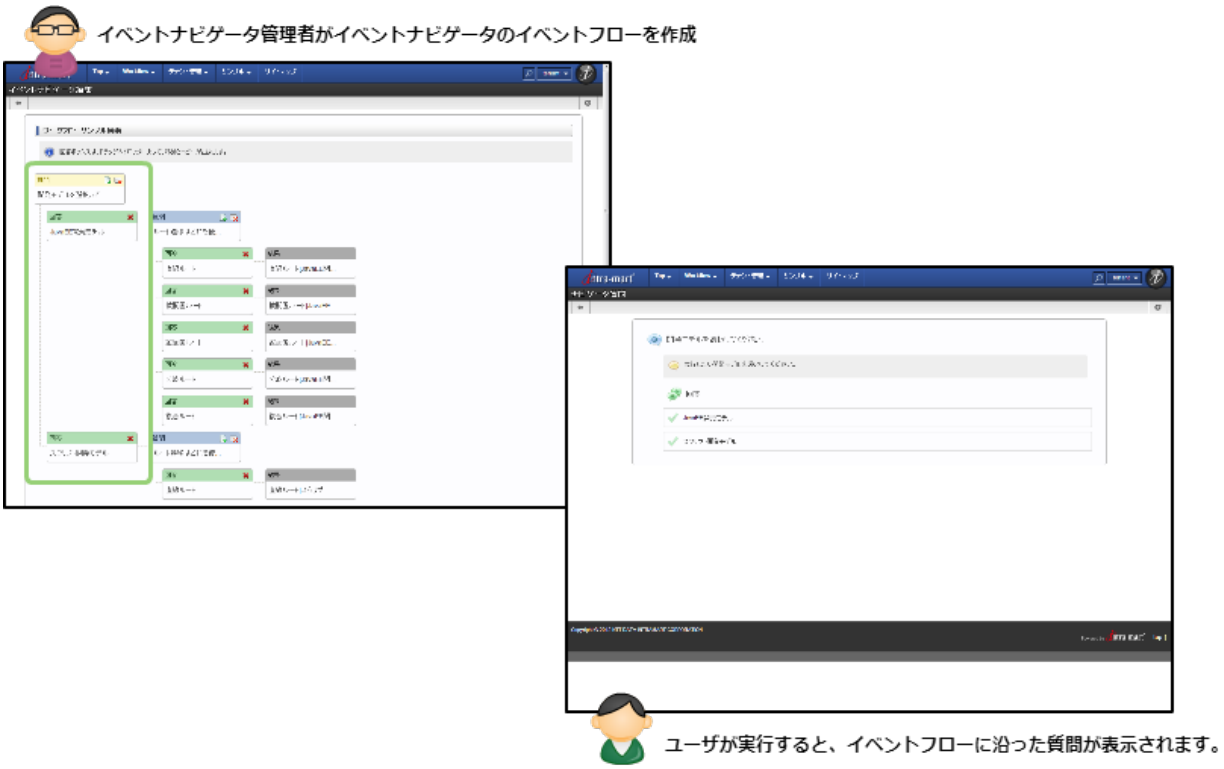
- 改訂情報
- イベントナビゲータ 概要
- イベントナビゲータ管理
  - イベントフローの管理画面
  - イベントフローの新規作成
  - イベントフローアクセス権の設定
  - イベントフローレイアウトの編集
    - 質問ボックスの編集
    - 回答ボックスの追加/編集
    - 回答ボックスの移動とコピー
    - 結果ボックスの編集
  - イベントフロータイトルの編集
  - イベントフロー表示順の変更
- イベントナビゲータ IM-Workflow アドオン
- インポート・エクスポート
  - エクスポート
    - イベントフロー情報のエクスポート
    - イベントフローに対するアクセス権のエクスポート
  - インポート
    - イベントフローに対するアクセス権のインポート
    - イベントフロー情報のインポート

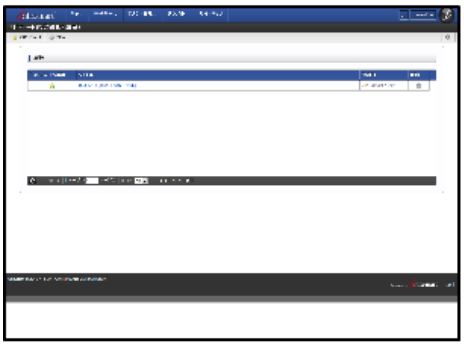
改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-07-01	初版
2014-01-01	第2版　下記を追加・変更しました ▪ 「*回答を認可により表示非表示する*」を追加 ▪ 「*リンクページを認可により表示非表示する*」を追加

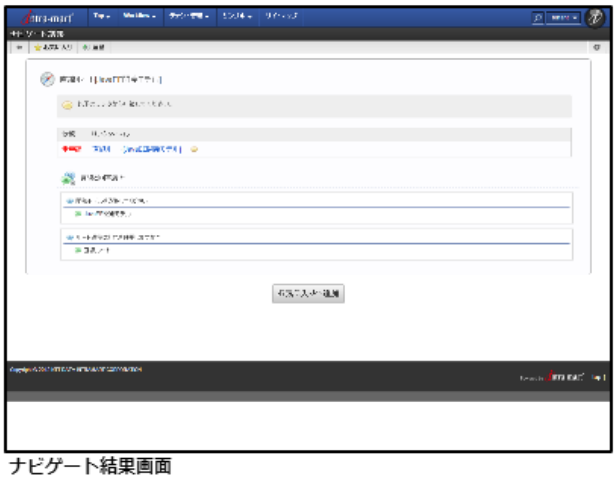
イベントナビゲータ 概要

イベントナビゲータは、条件によって複雑に分岐する申請書などの画面へのアプローチを、ウィザード形式で導く画面を作成するメニューです。
表示される質問に、答えてゆくだけで、最適な画面にたどりつけるようになります。

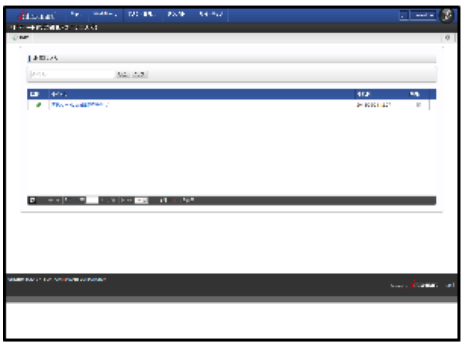




実行した結果は、「履歴」として保存されます。



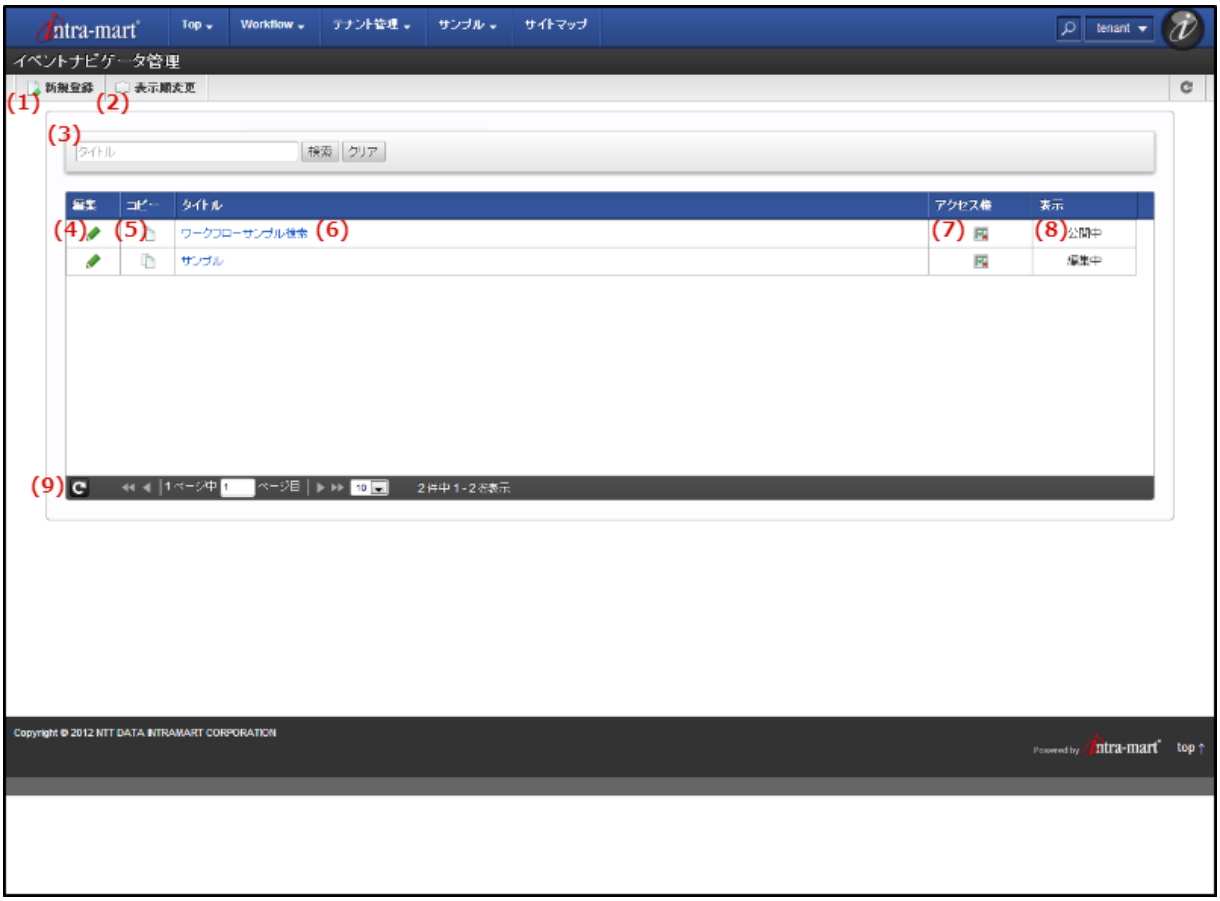
ナビゲート結果画面
質問と回答の履歴 そして、さまざまな画面へ誘導できます。



さらに、「お気に入り」として保存も可能です。

イベントフローの管理画面

「サイトマップ」-「イベントナビゲータ」-「イベントナビゲータ管理」をクリックします。
「イベントナビゲータ管理」に遷移します。

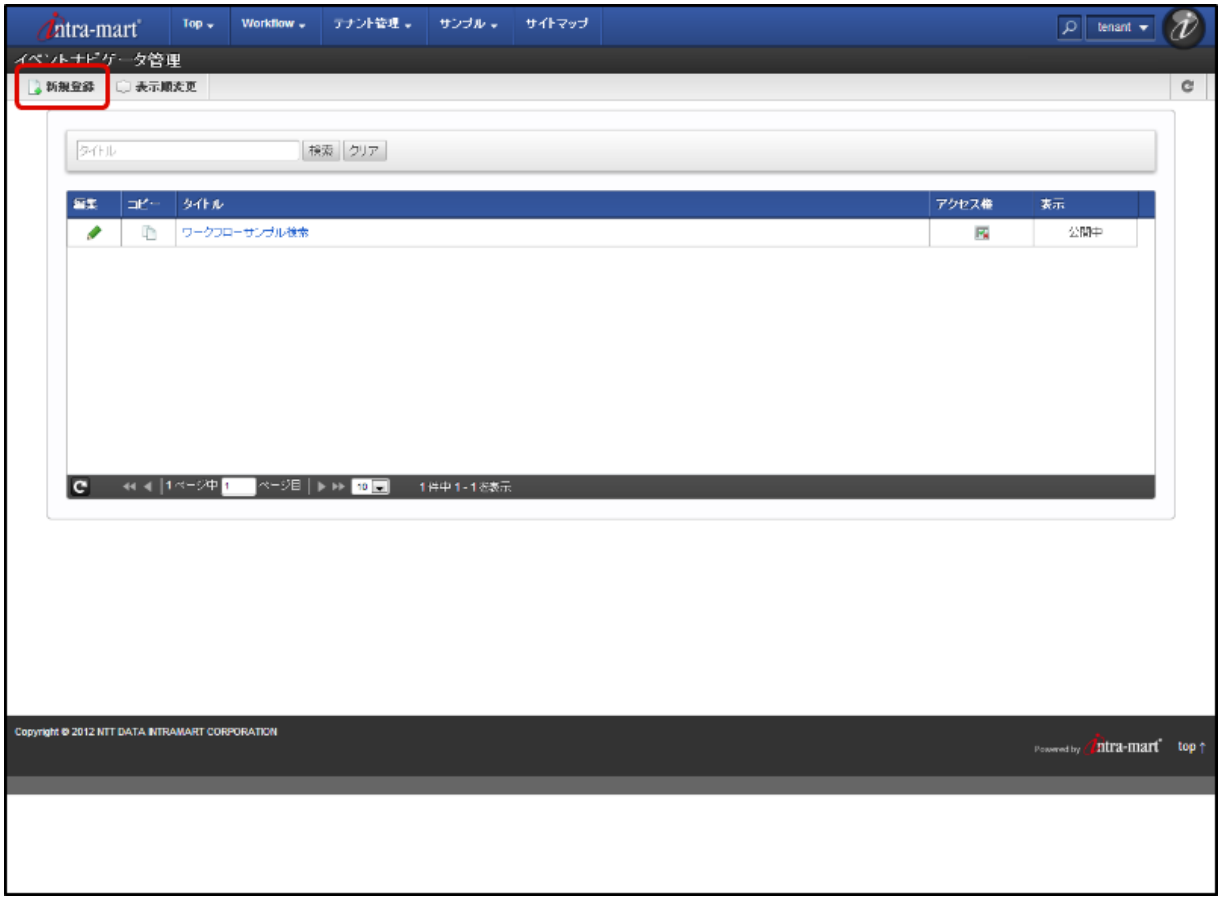


項目	説明
(1)新規登録	イベントフローを新規に作成します。
(2)表示順変更	イベントフローの表示順を変更します。
(3)検索	イベントフロータイトルで検索を行います。
(4)編集	イベントフロータイトルの編集を行います。 また、公開状態の変更および削除を行います。
(5)コピー	イベントフローのコピーを行います。
(6)タイトル	リンクをクリックすることでイベントフローのレイアウト編集を行います。
(7)アクセス権	イベントフローのアクセス権を設定します。
(8)公開	イベントフローの公開状態を表示します。 公開状態を変更する場合は、「(4)編集」から行います。
(9)タイトルリストの表示操作	タイトルリストのリロード、ページングなどを行います。

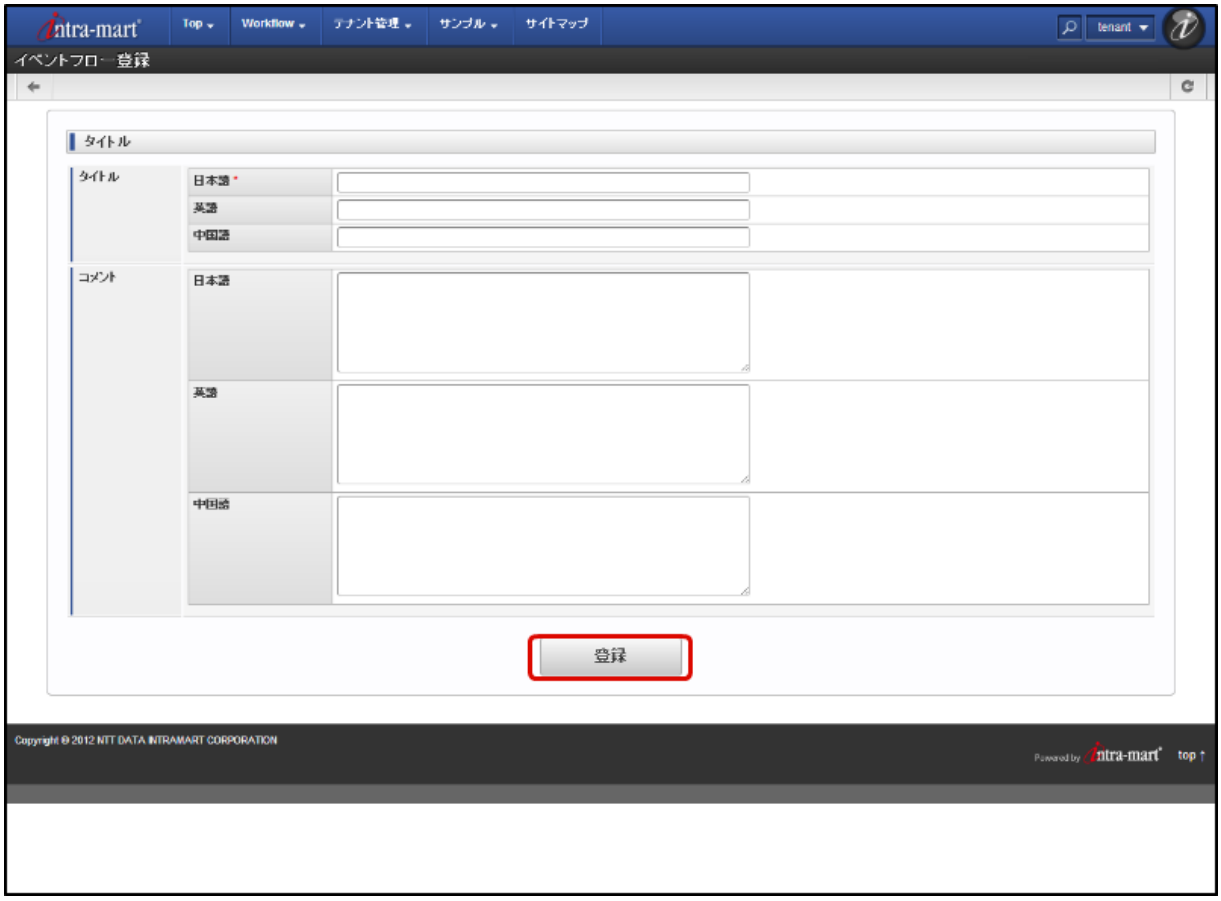
イベントフローの新規作成

イベントナビゲータの情報を作成するにあたり、まずタイトルやアクセス権の設定情報などの登録を行います。
これらの情報をイベントフローと呼んでいます。

1. 「サイトマップ」-「イベントナビゲータ」-「イベントナビゲータ管理」をクリックします。
   「イベントナビゲータ管理」ツールバーの「新規作成」をクリックします。



2. 「イベントフロー作成」画面が表示されます。
   タイトルおよびコメントを入力します。
   「登録」ボタンをクリックします。

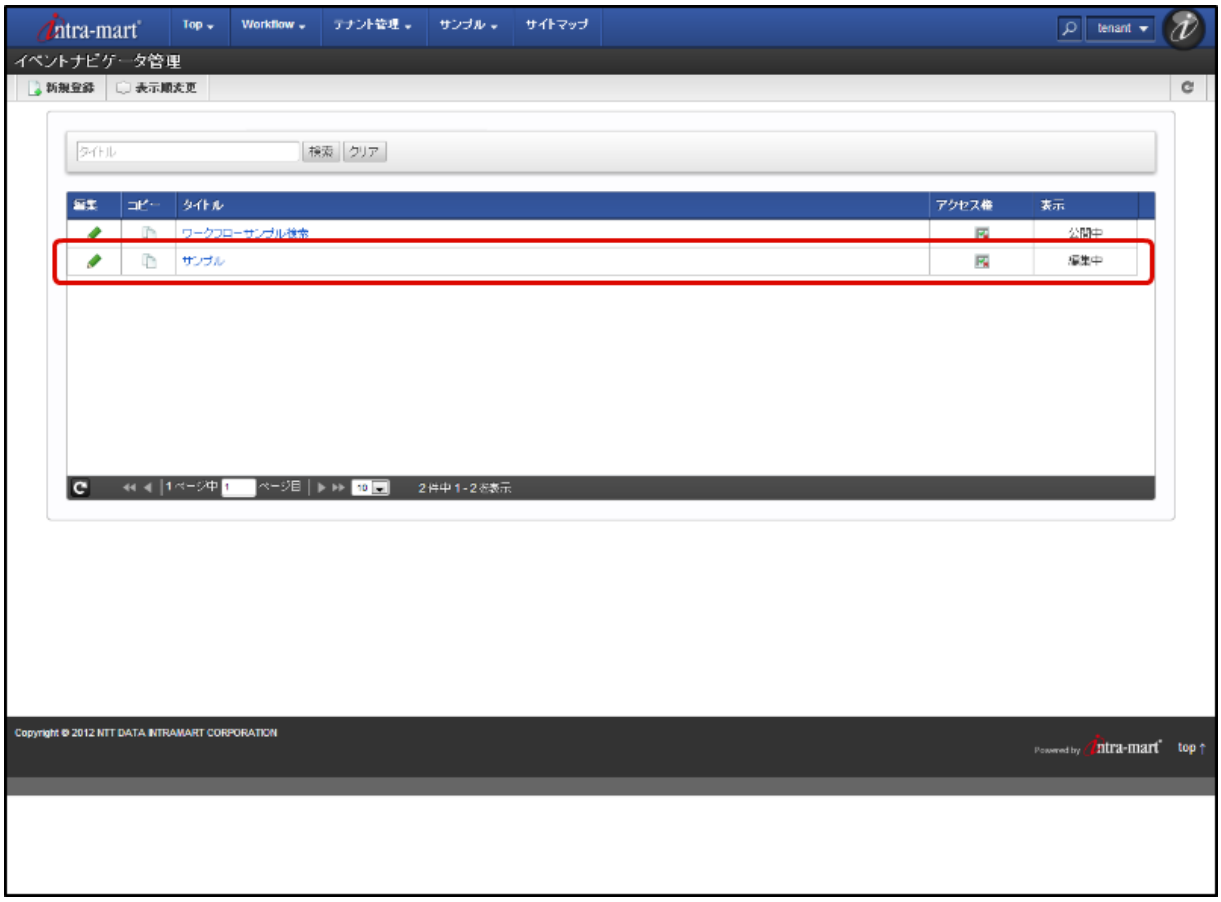


項目	説明
タイトル	イベントフローのタイトルです。 各ロケールに対して、入力します。
コメント	イベントフローのコメントです。 各ロケールに対して、入力します。

コラム

タイトルは、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
タイトルに対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力されたタイトルがコピーされて、登録されます。

3. イベントフローが新規に作成されました。



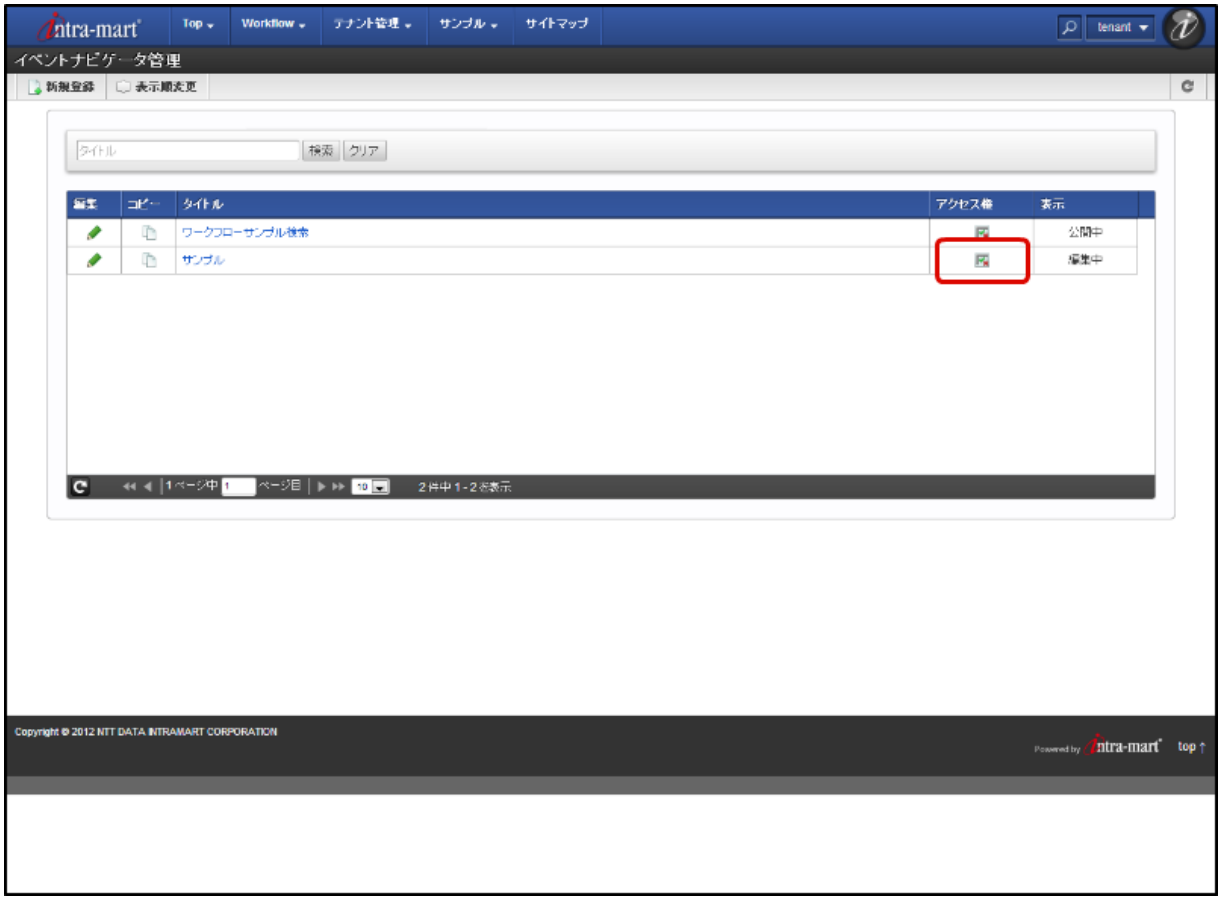
イベントフローアクセス権の設定

作成されたイベントフローに対して、アクセス権を設定します。
アクセス権によって許可されたユーザ対してのみイベントフローが表示されます。

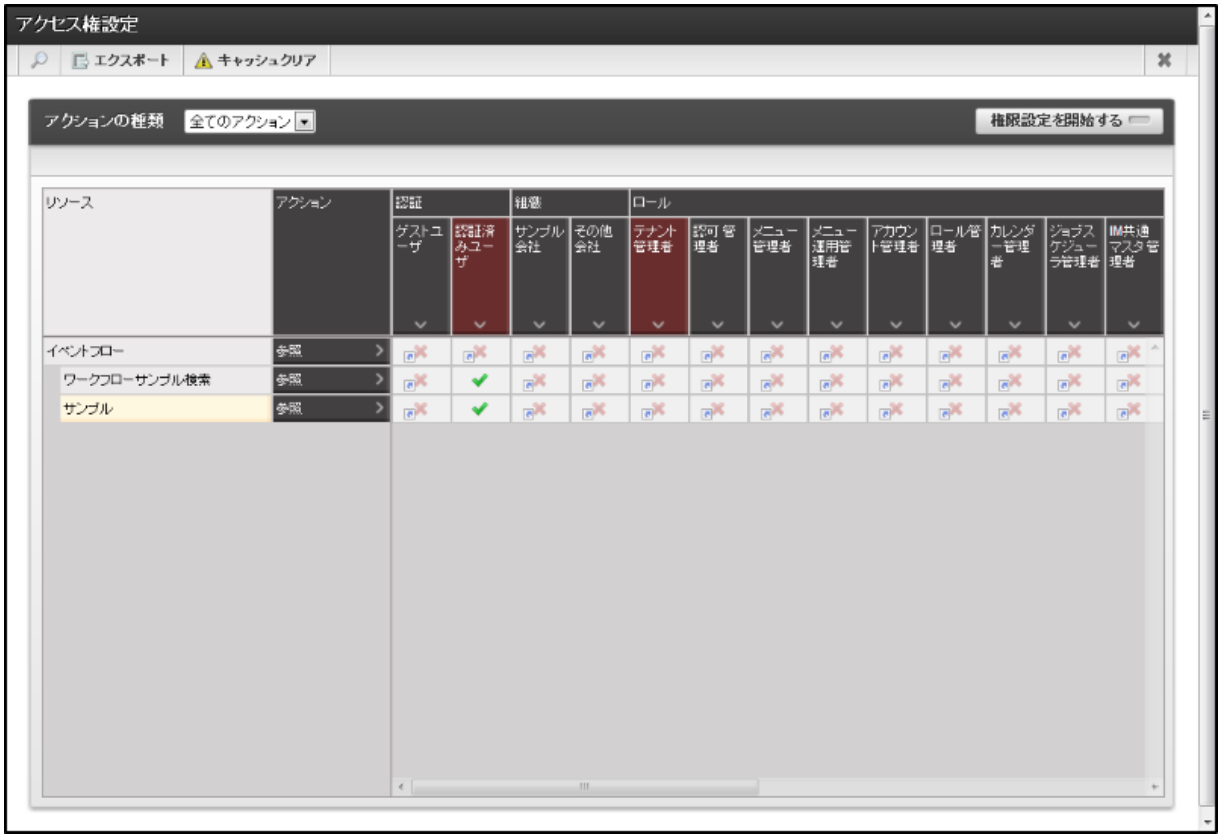
イベントフローが新規作成されると、デフォルトで認証済みユーザに対して、許可された状態になります。

また、ユーザにイベントフローを公開するためには、アクセス権とは別に、イベントフローの公開ステータスを 「公開中」に変更する必要があります。
公開ステータスの変更は、「イベントフロー編集」画面で変更します。（別途「イベントフロー編集」で説明します。）

1. 「イベントナビゲータ管理」で、アクセス権の設定を行うイベントフローの「アクセス権」アイコンをクリックします。



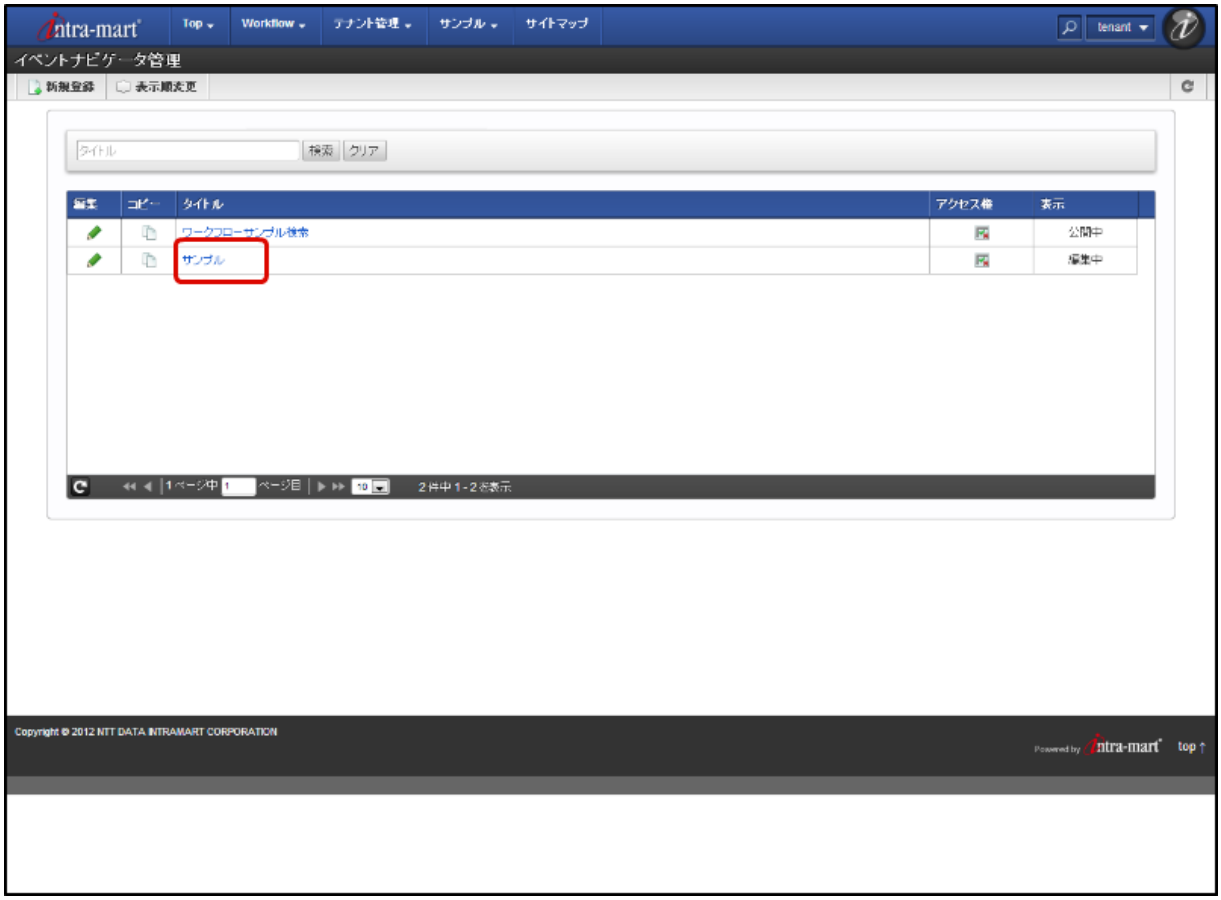
2. 「アクセス権設定」が表示されます。
画面右上の「権限設定を開始する」をクリックして、各イベントフローに対して、権限を設定します。
権限設定が完了後、画面右上の「権限設定を終了する」をクリックします。
アクセス権設定を閉じます。



イベントフローレイアウトの編集

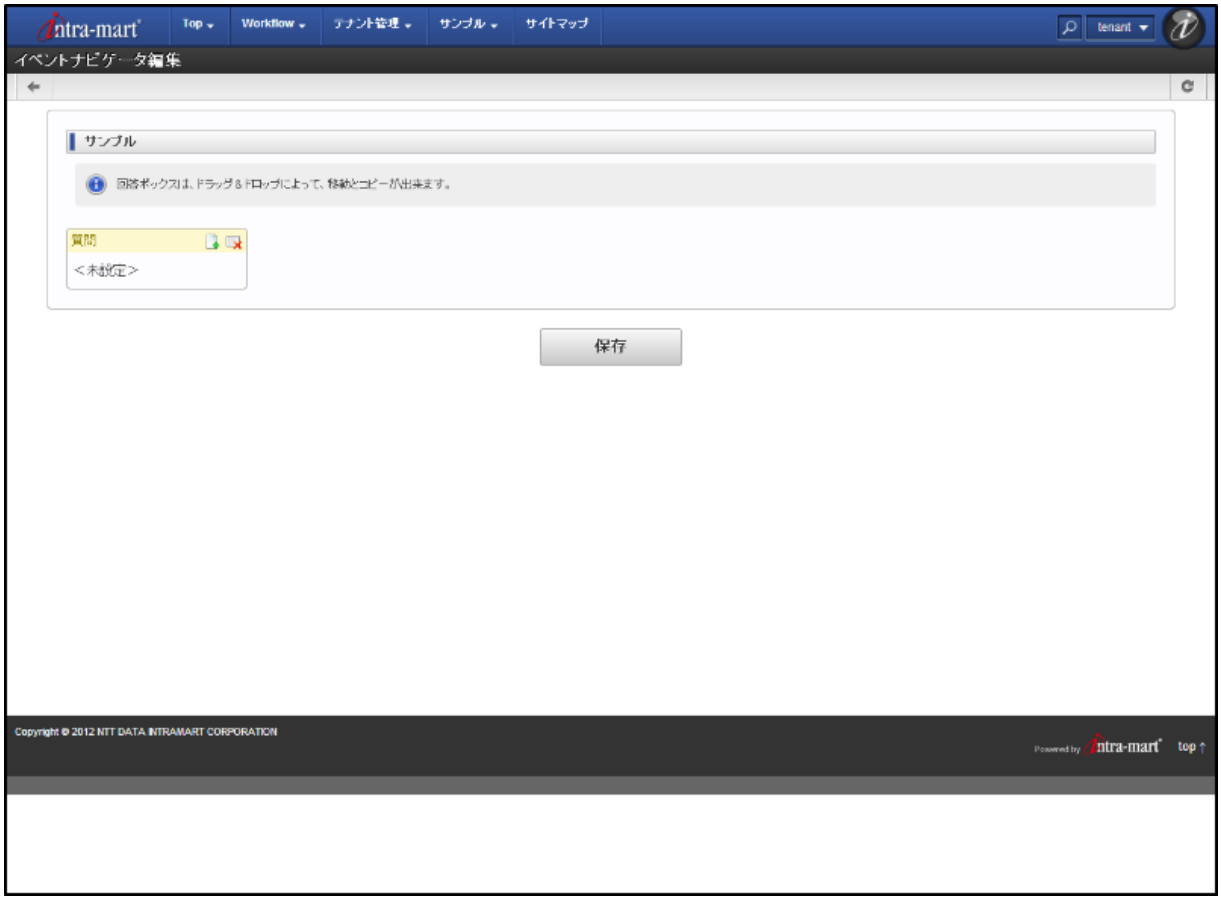
作成したイベントフローに対して、ナビゲートを行うためのレイアウトを編集します。

1. 「イベントナビゲータ管理」で、編集を行うイベントフローのタイトルリンクをクリックします。



2. イベントフローのレイアウトを行うための、「ナビゲータ編集」画面が表示されます。
   最初の「質問ボックス」が表示されています。（初期表示では、タイトルが＜未設定＞と表示されます。）

   各種ボックスの追加、および、編集を行って、「保存」をクリックします。



注意

「ナビゲータ編集」で行った操作は、「保存」されるまで確定されません。
長い時間編集を行う場合は、時折、一時保存を行うことをお勧めします。
イベントフローの公開状態が「編集中」または「非公開」である間は、ユーザには公開されません。

質問ボックスの編集

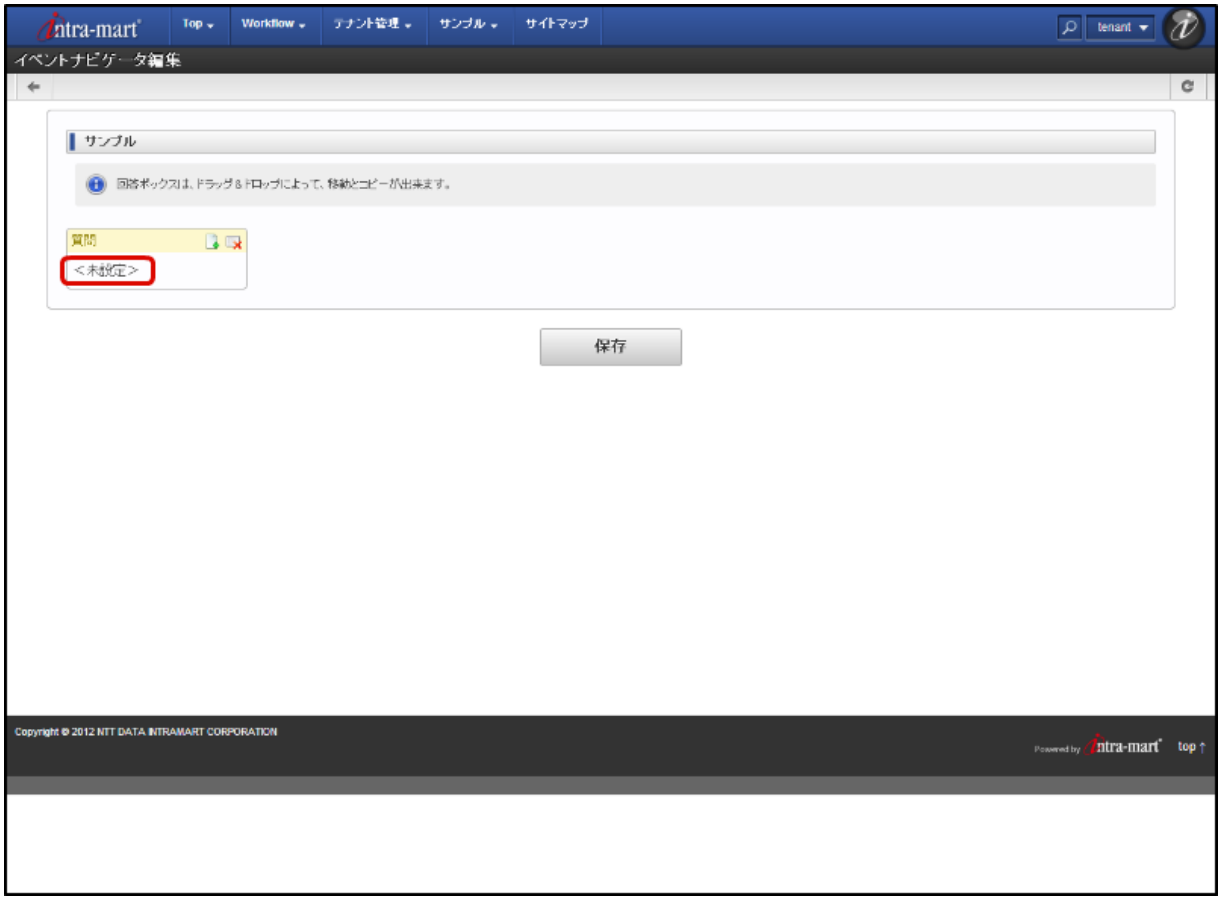
質問ボックスでは、質問内容を登録します。

トップの質問ボックスは、タイトルバーが黄色となっています。
それ以外の質問ボックスは、タイトルバーが緑色になっています。
機能的に違いはありません。

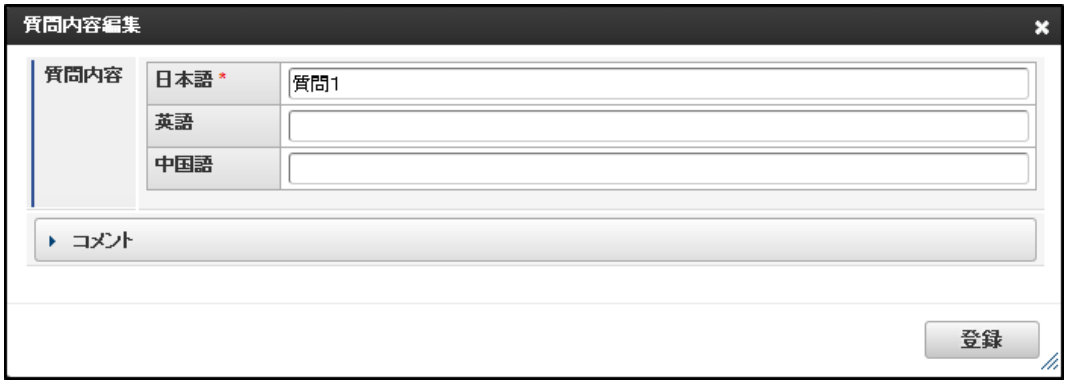
質問ボックス機能は以下の通りです。

項目	説明
(1)質問内容タイトル	質問の内容です。 クリックすることで、質問内容の編集を行います。
(2)回答の追加	この質問に対する回答を追加します。
(3)回答を削除	この質問に対するすべての回答を削除します。

1. 「ナビゲータ編集」画面で「質問ボックス」のタイトルをクリックします。



2. 「質問内容編集」ダイアログが表示されます。
質問内容および、コメントを入力して、「登録」ボタンをクリックします。



項目	説明
質問内容	質問の内容です。 各ロケールに対して、入力します。
コメント	質問内容に対するコメントです。 質問に対する補足情報などを入力します。 各ロケールに対して、入力します。

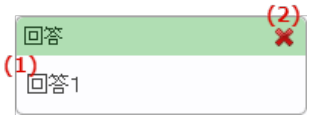
コラム

質問内容は、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
質問内容に対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力された質問内容がコピーされて、登録されます。

回答ボックスの追加/編集

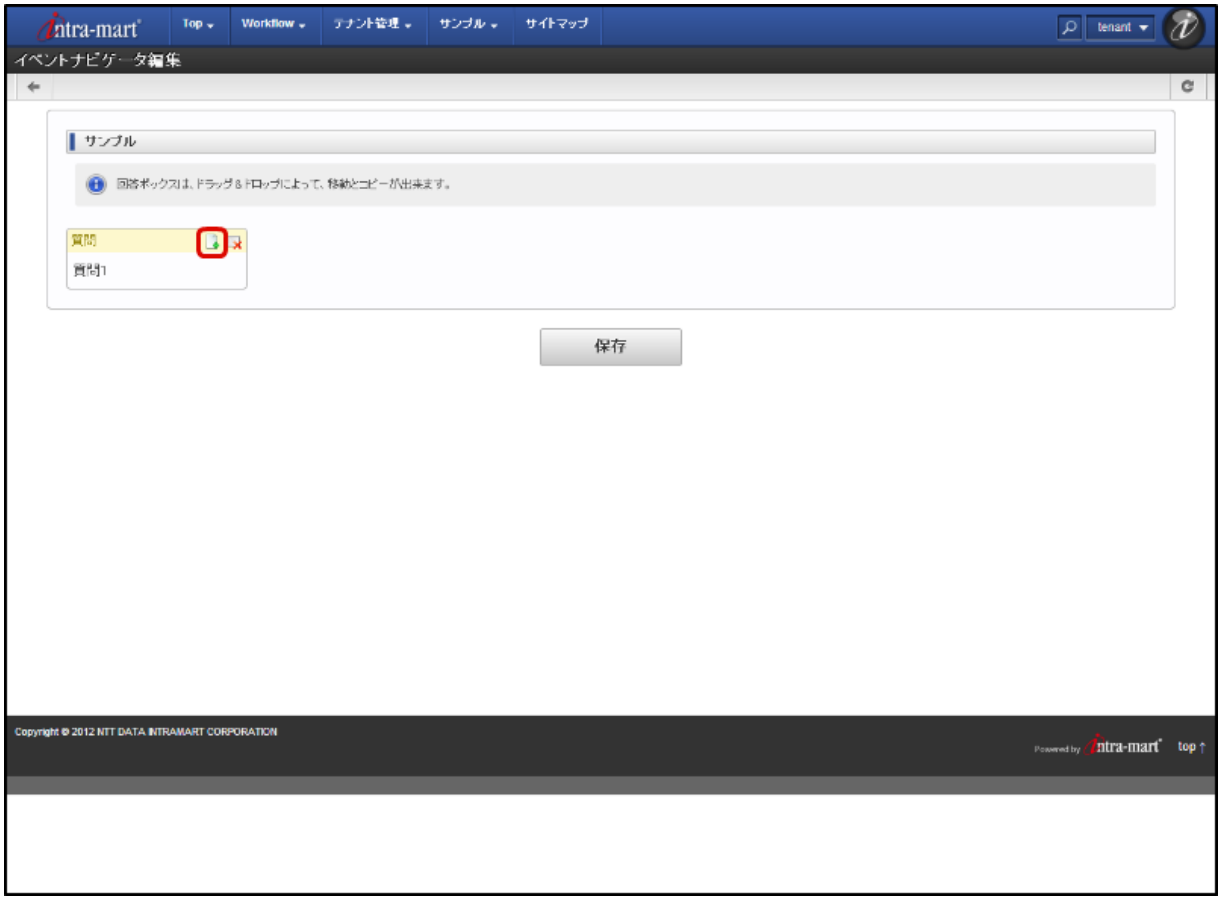
回答ボックスでは、質問に対する回答を登録します。

回答ボックス機能は以下の通りです。



項目	説明
(1)回答	回答の内容です。 クリックすることで、回答の編集を行います。
(2)削除	この回答ボックスを削除します。

1. 「ナビゲータ編集」画面で「質問ボックス」の「回答の追加」アイコンをクリックします。



2. 「回答編集」ダイアログが表示されます。
   回答、遷移先および、コメントを入力して、「登録」ボタンをクリックします。

項目	説明
質問内容	質問の内容です。 この質問に対する回答を登録することになります。
回答	質問内容に対する回答です。 各ロケールに対して、入力します。
遷移先	ユーザがこの回答を選択した場合の遷移先を設定します。 「質問」を選択した場は、次の質問へ遷移させます。 「結果」を選択した場は、ナビデート結果へ遷移させます。 なお、遷移先は、回答を新規に追加したときのみ選択できます。 配置された回答ボックスの編集では、変更できません。
コメント	回答に対するコメントです。 回答に対する補足情報などを入力します。 各ロケールに対して、入力します。

コラム

回答は、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
回答に対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力された回答がコピーされて、登録されます。

コラム

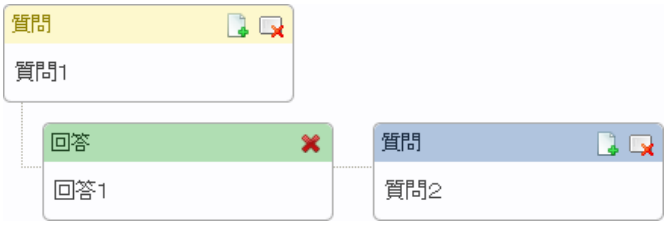
回答のコメントに認可リソース情報を記入することで、認可による回答の表示制御が可能になります。

${imAuthz:認可リソース}

（例） ${imAuthz:service://authz/sample}

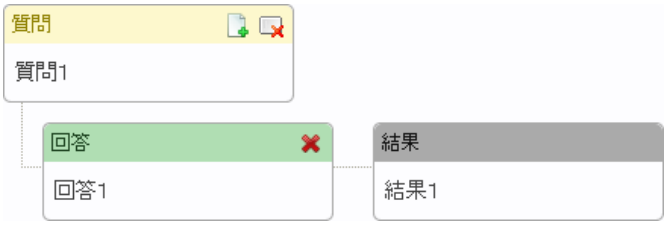
回答ボックスで遷移先に「質問」を選択した場合のイメージ

回答を追加して、遷移先に「質問」を選択して登録した場合は、以下のように、回答ボックスの後に質問ボックスが追加されます。



回答ボックスで遷移先に「結果」を選択した場合のイメージ

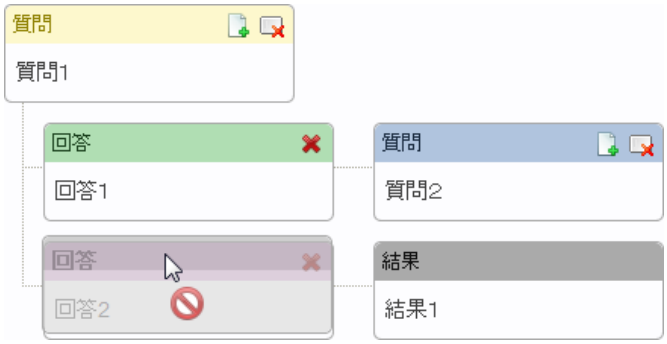
回答を追加して、遷移先に「結果」を選択して登録した場合は、以下のように、回答ボックスの後に結果ボックスが追加されます。



回答ボックスの移動とコピー

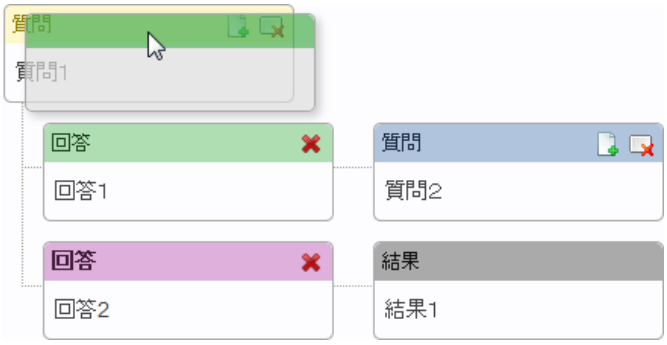
回答ボックスは、ドラッグすることで、移動およびコピーが可能です。

1. 回答のタイトルバーの部分でドラッグを開始します。
   ドラッグが開始されると、ドラッグ用のボックスが表示されます。



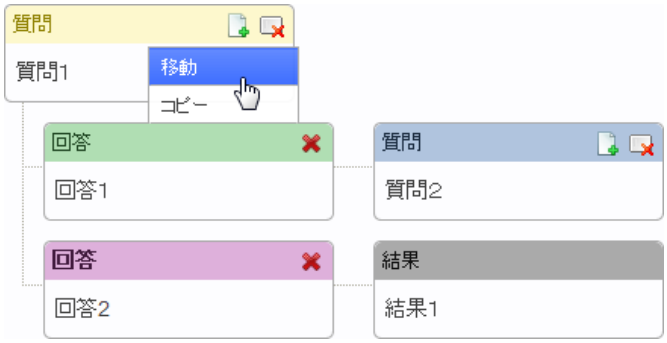
2. 回答ボックスまたは質問ボックスにドロップします。
   ドラック状態でドロップできるボックスに移動させると、ドラッグ用のボックスのタイトルバーが緑に変わります。

   なお、ドラッグを開始した回答ボックス配下に存在する回答ボックスや質問ボックスにはドロップできません。



3. 移動およびコピーしたいボックスでドロップすると、メニューが表示されます。
   メニューより「移動」または「コピー」選択します。

   質問ボックスにドロップした場合、質問ボックスの直下にコピーまたは移動されます。
   回答ボックスにドロップした場合、ドロップした回答ボックスの手前にコピーまたは移動されます。



結果ボックスの編集

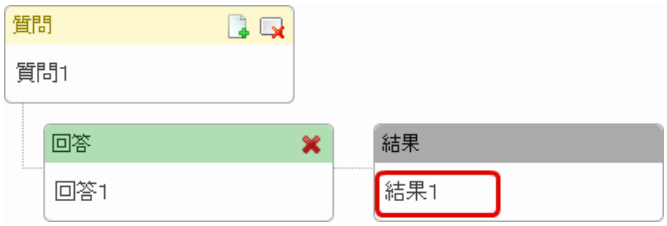
結果ボックスは回答の追加で遷移先に「結果」を選択した場合に、作成されます。

結果ボックスでは、回答に対する結果情報を登録します。

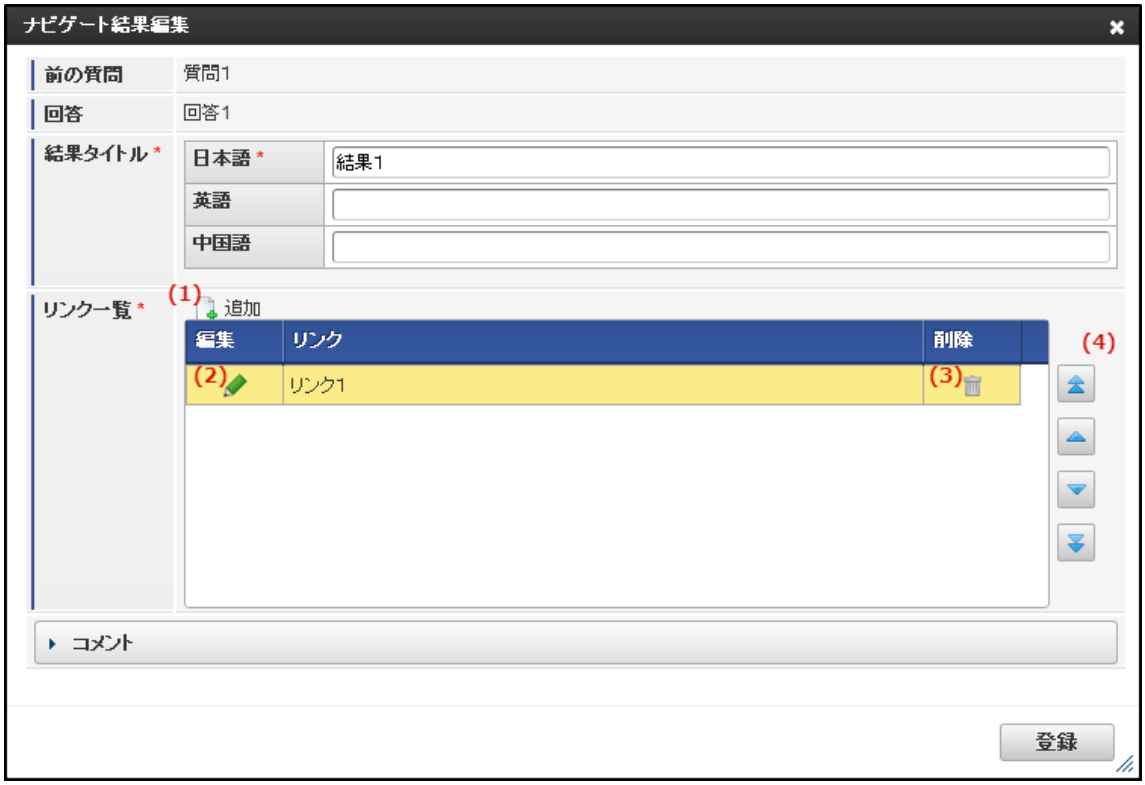
回答ボックス機能は以下の通りです。

項目	説明
(1)結果	結果の内容です。 クリックすることで、結果の編集を行います。

1. 「ナビゲータ編集」画面で「結果ボックス」の「結果タイトル」のリンクをクリックします。



2. 「ナビゲート結果編集」ダイアログが表示されます。
回答、結果タイトル、リンク情報および、コメントを入力して、「登録」ボタンをクリックします。



項目	説明
前の質問	このナビゲート結果に遷移する前の質問の内容です。
回答	このナビゲート結果に遷移する前の回答です。
結果タイトル	ナビゲート結果のタイトルです。 各ロケールに対して、入力します。
リンク一覧	ナビゲート結果に表示するリンクの一覧です。 リンクの「(1)追加」、「(2)編集」、「(3)削除」、「(4)並び替え」を行います。
コメント	ナビゲート結果に対するコメントです。 ナビゲート結果に対する補足情報などを入力します。 各ロケールに対して、入力します。

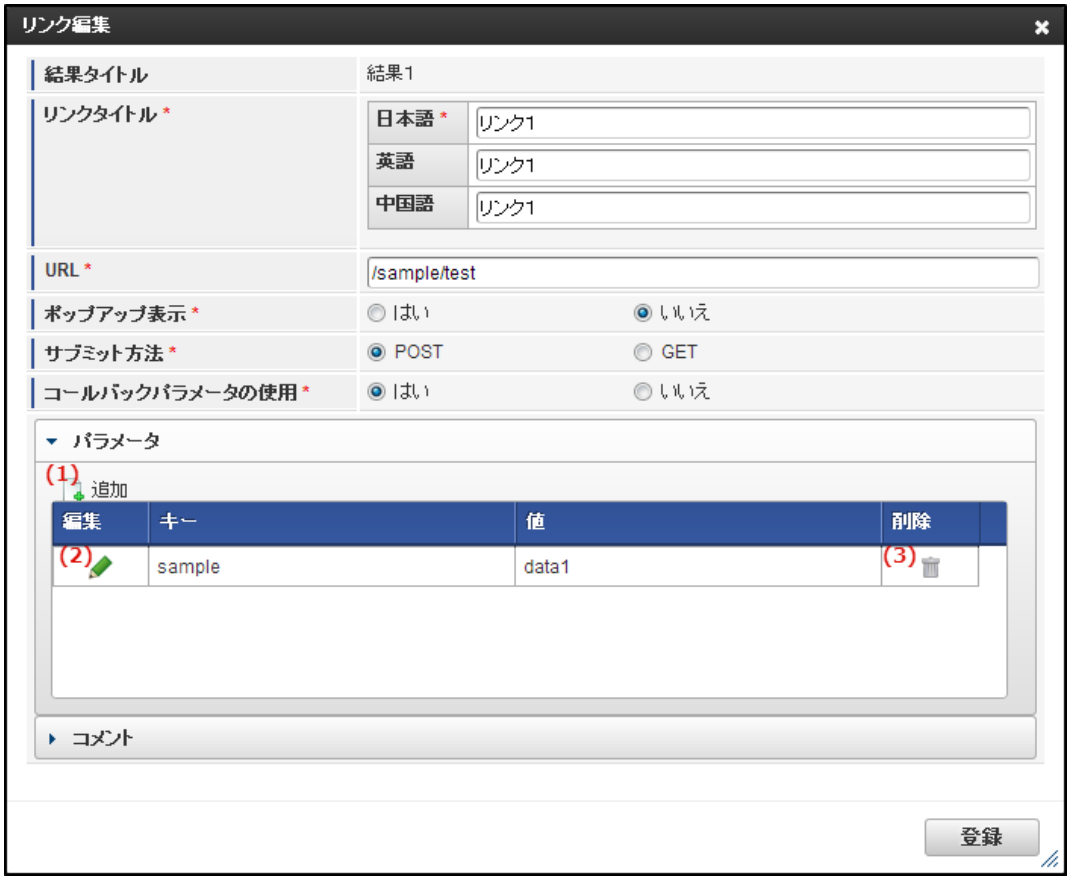
コラム

ナビゲート結果タイトルは、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
ナビゲート結果タイトルに対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力されたナビゲート結果タイトルがコピーされて、登録されます。

リンクの追加と編集

1. リンクの追加を行う場合は、「ナビゲータ結果編集」ダイアログで「リンク一覧」の「追加」ボタンをクリックします。
   リンクの編集を行う場合は、「ナビゲータ結果編集」ダイアログで「リンク一覧」の「編集」ボタンをクリックします。

   「リンク編集」ダイアログが表示されます。
   リンクタイトル、回答、結果タイトル、リンク情報および、コメントを入力して、「登録」ボタンをクリックします。



項目	説明
結果タイトル	このリンクの結果タイトルです。
リンクタイトル	リンクのタイトルです。 各ロケールに対して、入力します。
URL	リンクのURLです。 内部URLを指定する場合は、コンテキストパスからの相対パスを指定します。（先頭に/をつけます。） 外部URLを指定する場合は、プロトコルから指定します。 （*http://www.intra-mart.jp* など。）
ポップアップ表示	「はい」選択した場合、リンクから遷移するときに、別ウインドウまたは、別タブに表示します。 （別ウインドウに表示されるか別タブ表示されるかは、ブラウザによって異なります。）
サブミット方法	リンクから遷移させるときに利用するメソッドです。

項目	説明
コールバックパラメータの使用	リンクから遷移させるページに対して、このナビゲート結果に戻るための情報を送信するかを選択します。 遷移先からこの情報を使って、ナビゲート結果に戻る場合は、遷移先ページでの対応が必要となります。
パラメータ	リンクから遷移させるページに対して送信するパラメータです。 パラメータの「(1)追加」、「(2)編集」、「(3)削除」を行います。
コメント	リンクに対するコメントです。 リンクに対する補足情報などを入力します。 各ロケールに対して、入力します。

コラム

リンクタイトルは、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
リンクタイトルに対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力されたリンクタイトルがコピーされて、登録されます。

コラム

標準でリンクのURLにスクリプト開発のパスを指定できます。
スクリプト開発のパスを指定する場合は、スクリプトのパスに拡張子(jssp)を付けてください。

（例） system/sample/test.jssp

コラム

リンクのコメントに認可リソース情報を記入することで、認可によるリンクの表示制御が可能になります。

${imAuthz:認可リソース}

（例） ${imAuthz:service://authz/sample}

パラメータの追加と編集

1. パラメータの追加を行う場合は、「リンク編集」ダイアログで「リンク一覧」の「追加」ボタンをクリックします。
   パラメータの編集を行う場合は、「リンク編集」ダイアログで「リンク一覧」の「編集」ボタンをクリックします。

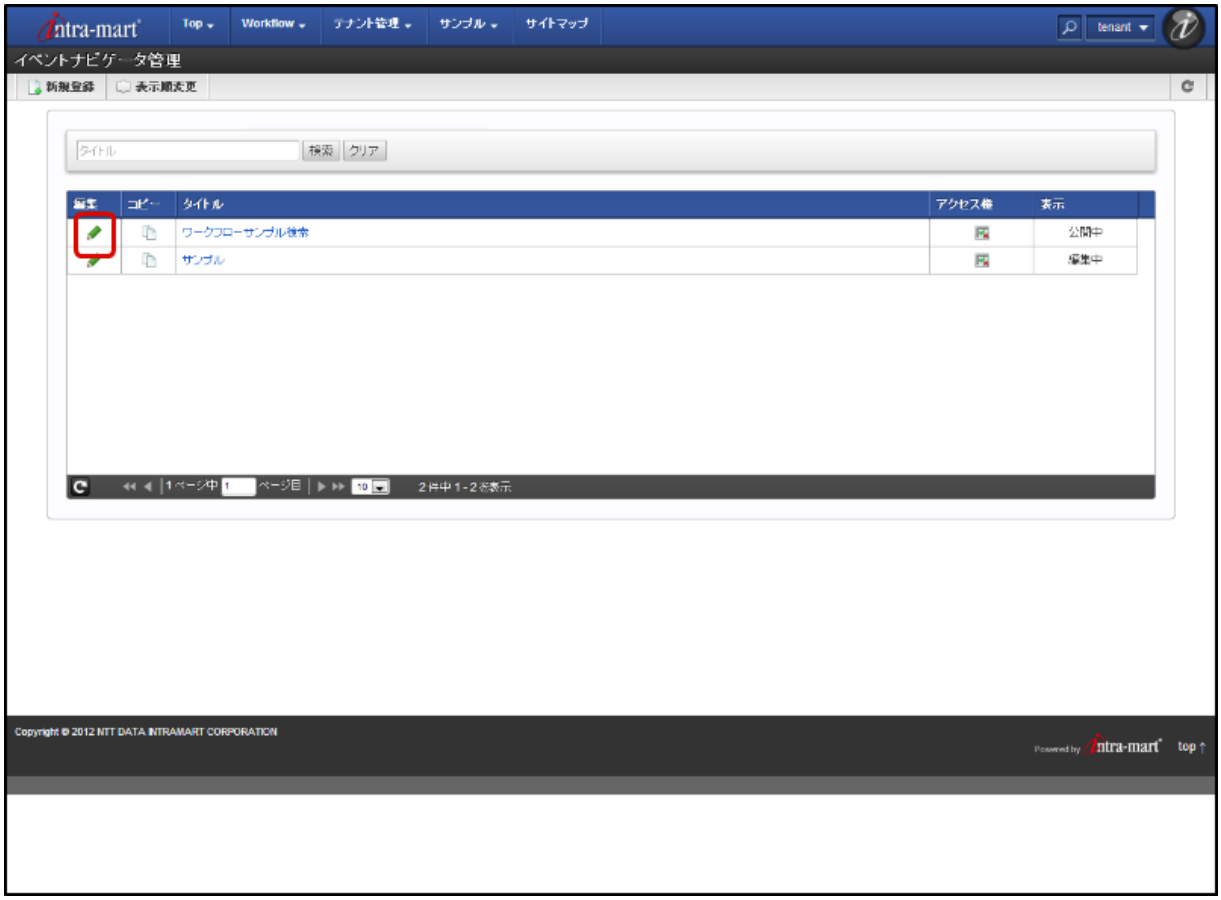
   「パラメータ登録」ダイアログが表示されます。
   パラメータのキーおよび、値を入力して、「登録」ボタンをクリックします。

項目	説明
リンクタイトル	リンクのタイトルです。 各ロケールに対して、入力します。
URL	リンクのURLです。

項目	説明
キー	パラメータのキーです。
値	パラメータの値です。

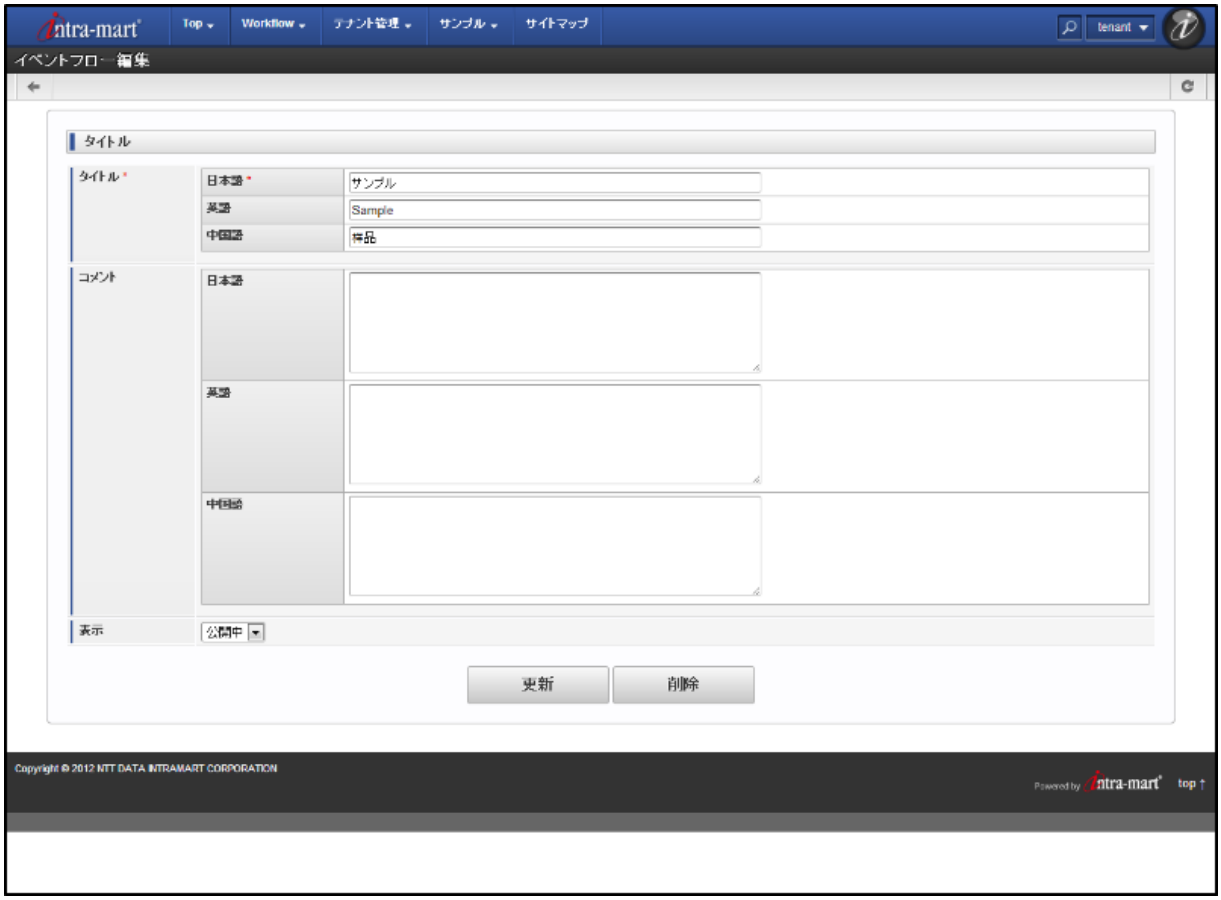
イベントフロータイトルの編集

1. 「イベントナビゲータ管理」で編集したいイベントフローの「編集」ボタンをクリックします。



2. 「イベントフロー編集」に遷移します。
   タイトル、コメント および 表示を編集して、「更新」ボタンをクリックします。

   削除する場合は、「削除」をクリックします。



項目	説明
タイトル	イベントフローのタイトルです。 各ロケールに対して、入力します。
コメント	イベントフローのコメントです。 各ロケールに対して、入力します。
公開	イベントフローの公開状態です。 ユーザに公開する場合は、「公開中」に変更してください。 なお、イベントフロー「編集中」の場合は変更はできません。
「更新」ボタン	編集内容を確定し、更新します。
「削除」ボタン	イベントフローを削除します。

コラム

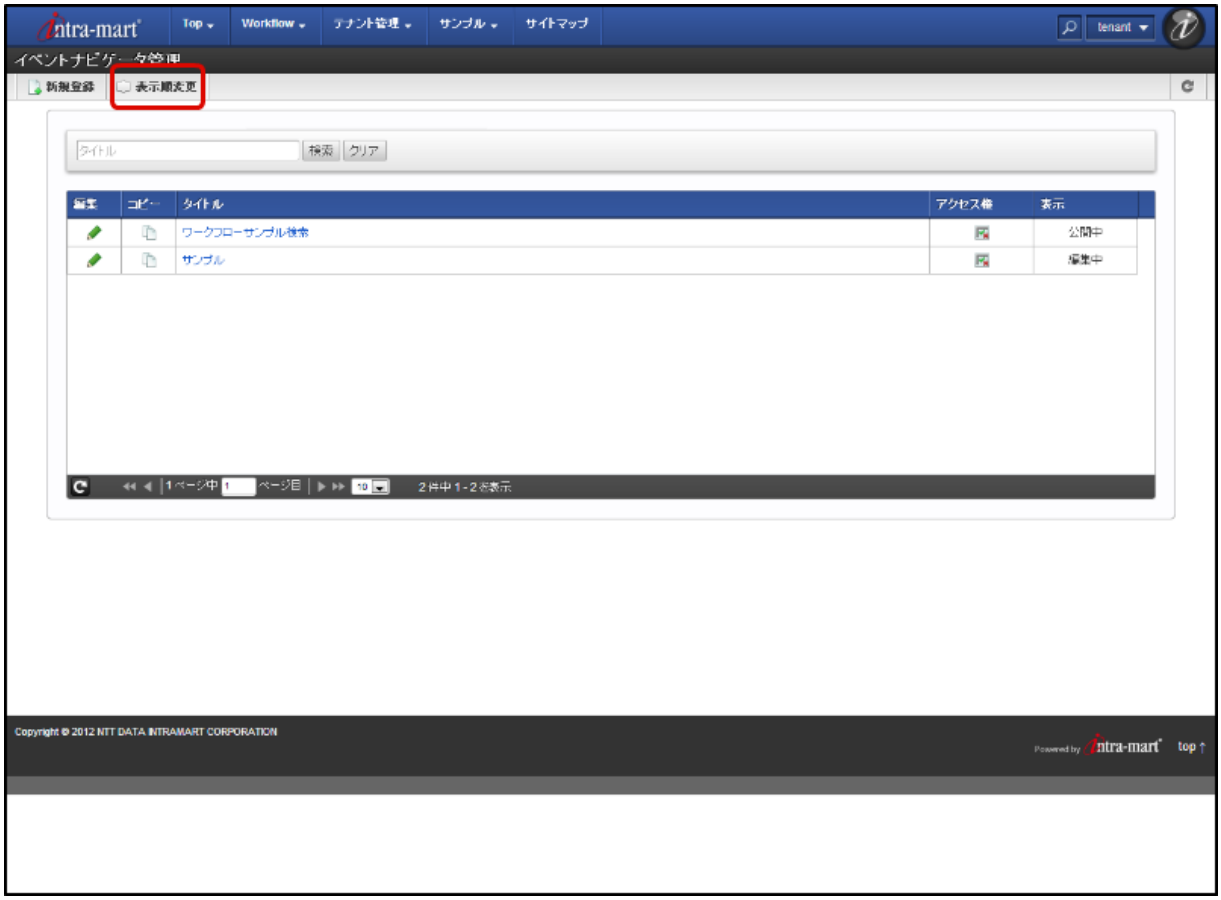
タイトルは、テナントのデフォルトロケールが必須となっています。
タイトルに対して、テナントのデフォルトロケール以外のロケールを入力しなかった場合、テナントのデフォルトロケールに入力されたタイトルがコピーされて、登録されます。

注意

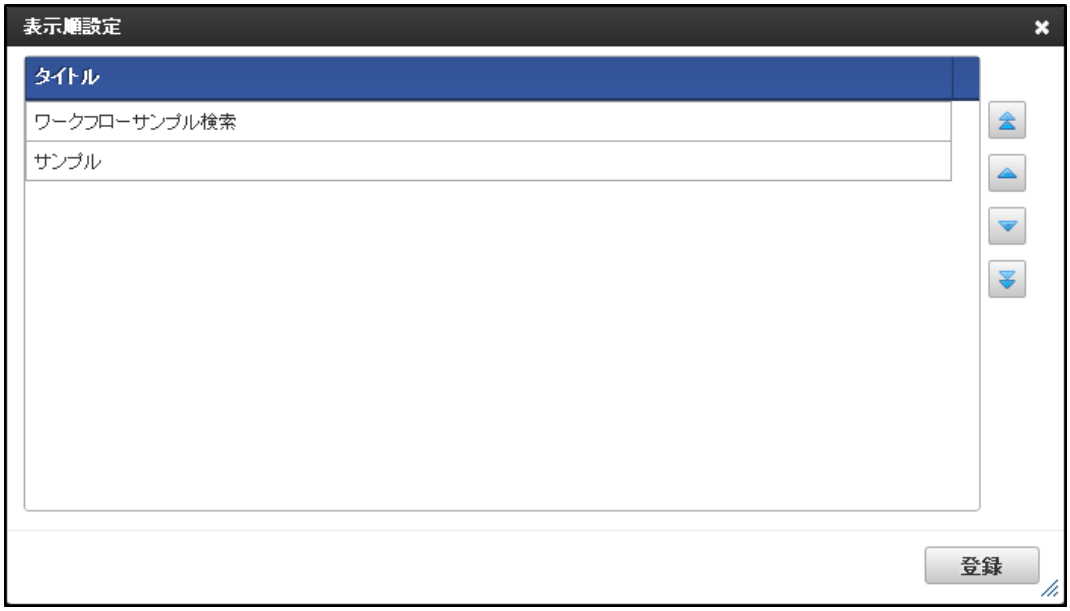
イベントフローの「表示」が「非公開」の場合は、このイベントフローはユーザに表示されません。
アクセス権設定と「表示」が「公開中」である場合に、アクセス権が許可されているユーザに表示されます。

イベントフロー表示順の変更

1. 「イベントナビゲータ管理」ツールバー「表示順変更」ボタンをクリックします。



2. 「表示順設定」ダイアログが表示されます。
表示順を変更して、「登録」ボタンをクリックします。



イベントナビゲータ IM-Workflow アドオン

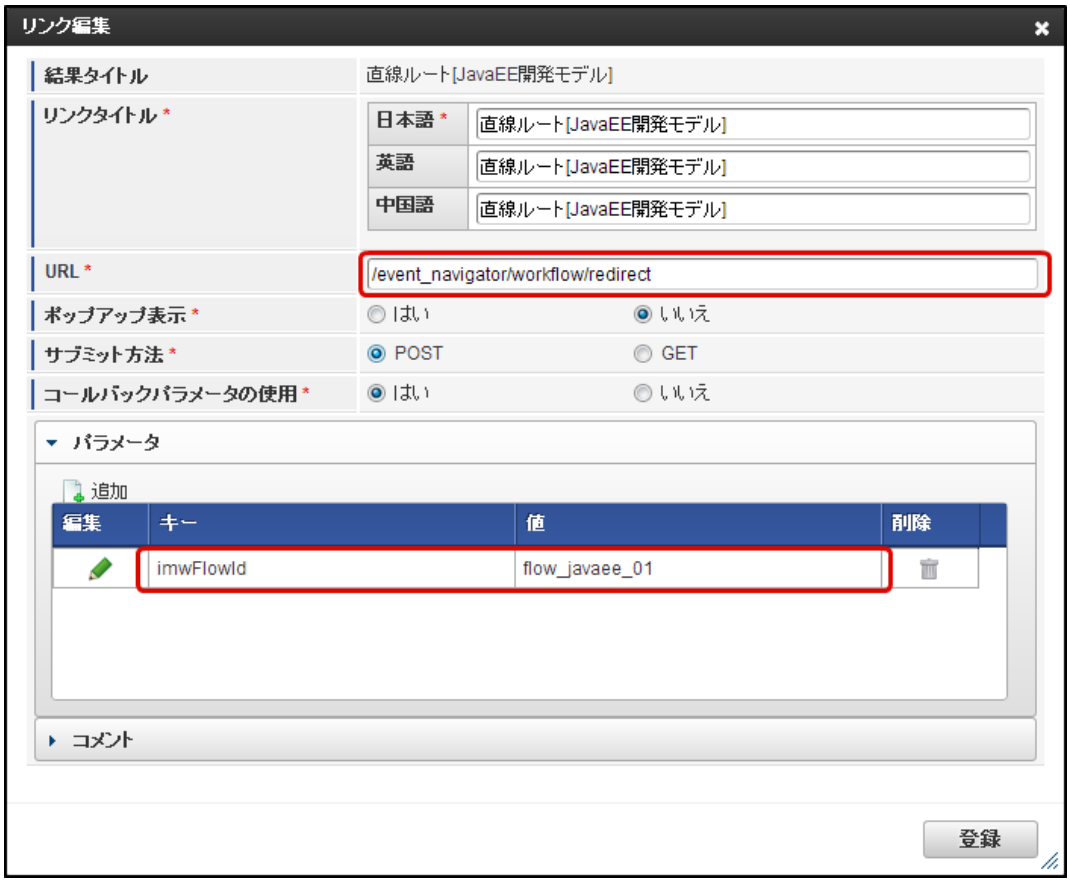
IM-Juggling で、イベントナビゲータ IM-Workflow アドオンを選択することで、以下のようなことが可能となります。

- ナビゲート結果のリンクに IM-Workflowの申請画面を設定できるようになります。
- 設定した申請画面のリンクはナビゲータを利用するユーザが申請できる場合のみ表示されるようになります。
- リンクから申請画面に遷移したあと、申請処理終了後、ナビゲート結果画面に戻ることができます。

「ナビゲータ編集」画面の「リンク設定」ダイアログで以下のように入力します。

- URLに **/event_navigator/workflow/redirect**
- パラメータとして以下を指定します。

キー	値
imwFlowId	{IM-Workflowのフローを指定します。}



インポート・エクスポート

イベントフローのインポートおよびエクスポート方法について説明します。

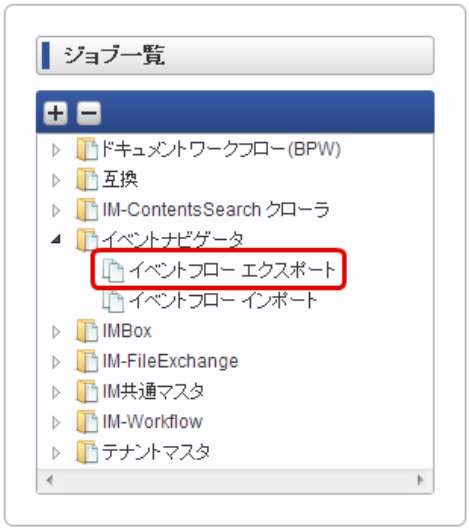
エクスポート

エクスポートでは、大きく２つの情報をエクスポートする必要があります。

1. イベントフロー情報のエクスポート
2. イベントフローに対するアクセス権のエクスポート

イベントフロー情報のエクスポート

1. 「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「ジョブ管理」-「ジョブ設定」を選択します。
2. ジョブ一覧から「イベントナビゲータ」-「イベントフロー エクスポート」を選択します。



3. 右側に「イベントフロー エクスポート」ジョブが表示されます。

   「このジョブを編集する」ボタンをクリックします。

4. 実行パラメータの fileの値にエクスポートするファイルパスを入力します。
   （ファイルパスはパブリックストレージからの相対パスです。）

   「この内容でジョブを保存する」ボタンをクリックします。

ジョブ編集

基本情報

ジョブカテゴリ	イベントナビゲータ
ジョブID *	im-event-navigator-export-job
ジョブ名 *	日本語：イベントフロー エクスポート 英語：Export Event flow 中国語：事件流程导出
ジョブの説明	

実行時の情報

実行言語 *	Java
実行プログラム *	jp.co.intra_mart.system.job_scheduler.import_export.StandardExportJob
実行パラメータ	パラメータを追加する　パラメータをすべて削除する　ジョブ定義から取得する

パラメータリスト（追加後にクリックして入力してください）

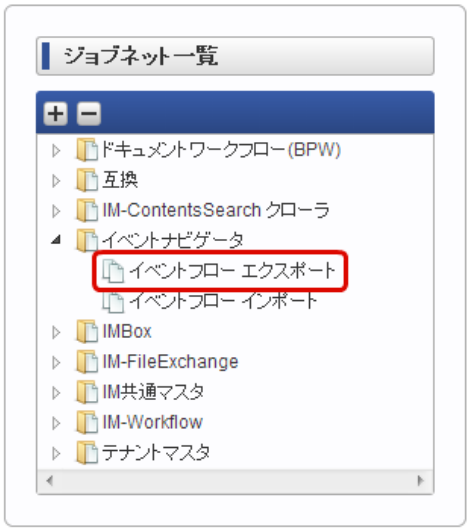
キー	値	削除
include-edit-flow	true	✖
plugin_id	jp.co.intra_mart.export.StandardNavigatorXmlExporter	✖
file	event-flow-data.xml	✖
format-xml	true	✖

この内容でジョブを更新する

コラム

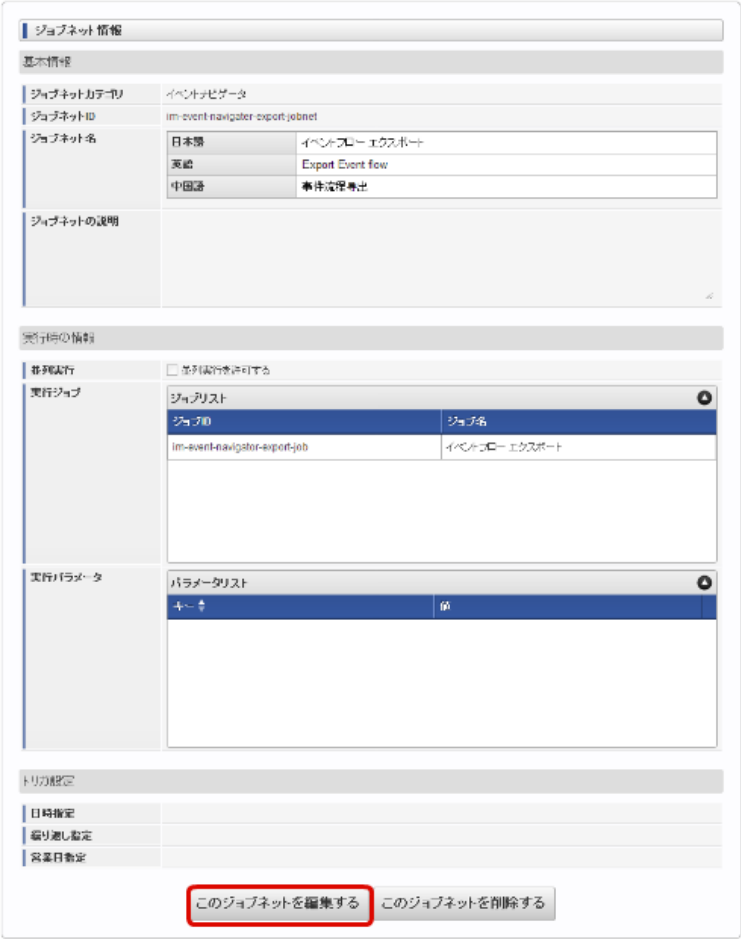
実行パラメータの include-edit-flowの値をfalseした場合、編集中のイベントフローはエクスポートされません。
また、format-xmlの値がtrueの場合、作成されるエクスポートファイルの内容を整形して出力します。

5. 「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「ジョブ管理」-「ジョブネット設定」を選択します。
6. ジョブネット一覧から「イベントナビゲータ」-「イベントフロー エクスポート」を選択します。



7. 右側に「イベントフロー エクスポート」ジョブネットが表示されます。

   「このジョブネットを編集する」ボタンをクリックします。



8. 「トリガ設定」でトリガーを作成します。
   作成したトリガに「有効」チェックを付けて、「この内容でジョブネットを更新する」ボタンをクリックします。

   指定したトリガ設定によって、ジョブネットが実行され、エクスポートファイルが作成されます。

9. 「ジョブネットモニタ」でジョブネットの実行ステータスを確認してください。

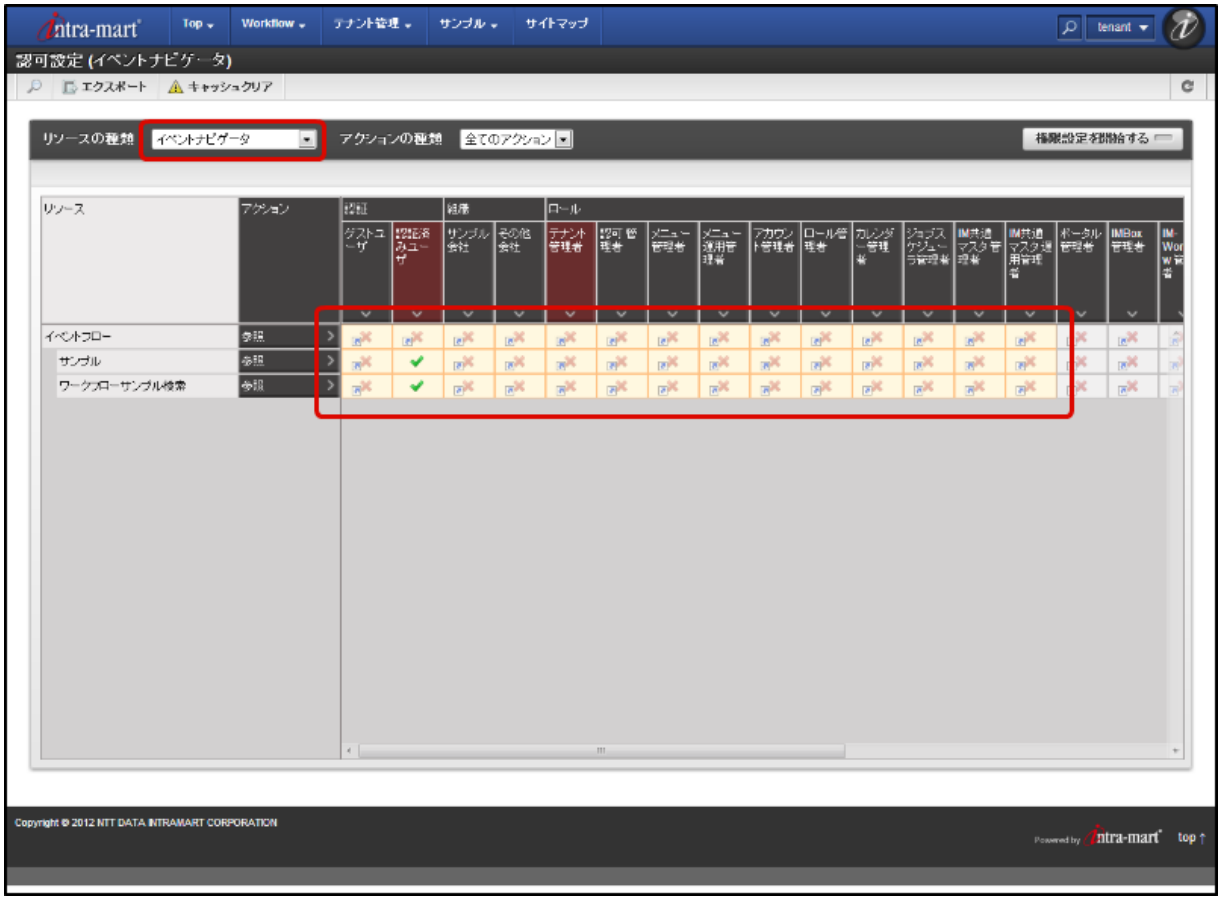
イベントフローに対するアクセス権のエクスポート

1. 「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「認可」を選択します。

   「リソースの種類で「イベントナビゲータ」を選択します。

   エクスポートしたい認可設定の範囲をドラッグして選択します。

   ツールバーのエクスポートをクリックします。

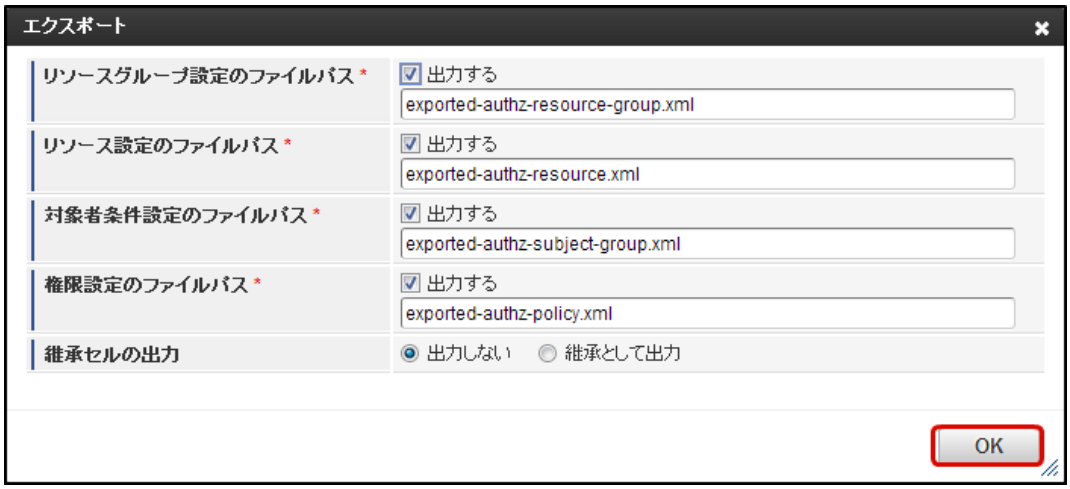


2. 「エクスポート」ダイアログが表示されます。

   すべての「出力する」にチェックを付けます。
   必要であれば、ファイルパスも変更します。
   (ファイルパスは、パブリックストレージからの相対パスです。)

   「OK」をクリックします。

   イベントフローのアクセス権がエクスポートされます。



インポート

インポートでは、大きく２つの情報をインポートする必要があります。

1. イベントフローに対するアクセス権のインポート
2. イベントフロー情報のインポート

注意

イベントフローに対するアクセス権より先にイベントフロー情報のインポートを行った場合
インポートするイベントフローが新規に登録される場合、認可として「認証済みユーザ」への許可が設定されます。

また、 イベントフローに対するアクセス権のインポートを行わない場合は、イベントフロー情報のインポート後に
アクセス権の設定を確認し、適切に設定しなおしてください。

イベントフローに対するアクセス権のインポート

イベントフローに対するアクセス権のインポートでは、認可のインポートジョブを利用して、インポートを行います。
「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「ジョブ管理」以下のメニューから処理を行います。

ジョブでのインポートの順序は以下の通りです。

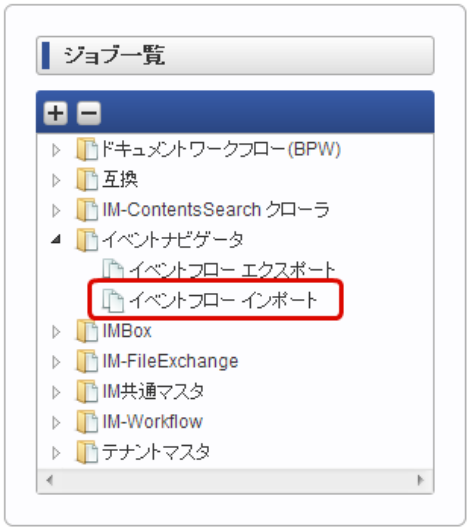
1. 認可（リソースグループ）インポート
2. 認可（リソース）インポート
3. 認可（サブジェクトおよびグループ）インポート
4. 認可（ポリシー）インポート

注意

インポートの順序は指定された通りに実行してください。
インポートの順序が異なる場合、正常にインポートされない場合があります。

イベントフロー情報のインポート

1. 「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「ジョブ管理」-「ジョブ設定」を選択します。
2. ジョブ一覧から「イベントナビゲータ」-「イベントフロー インポート」を選択します。

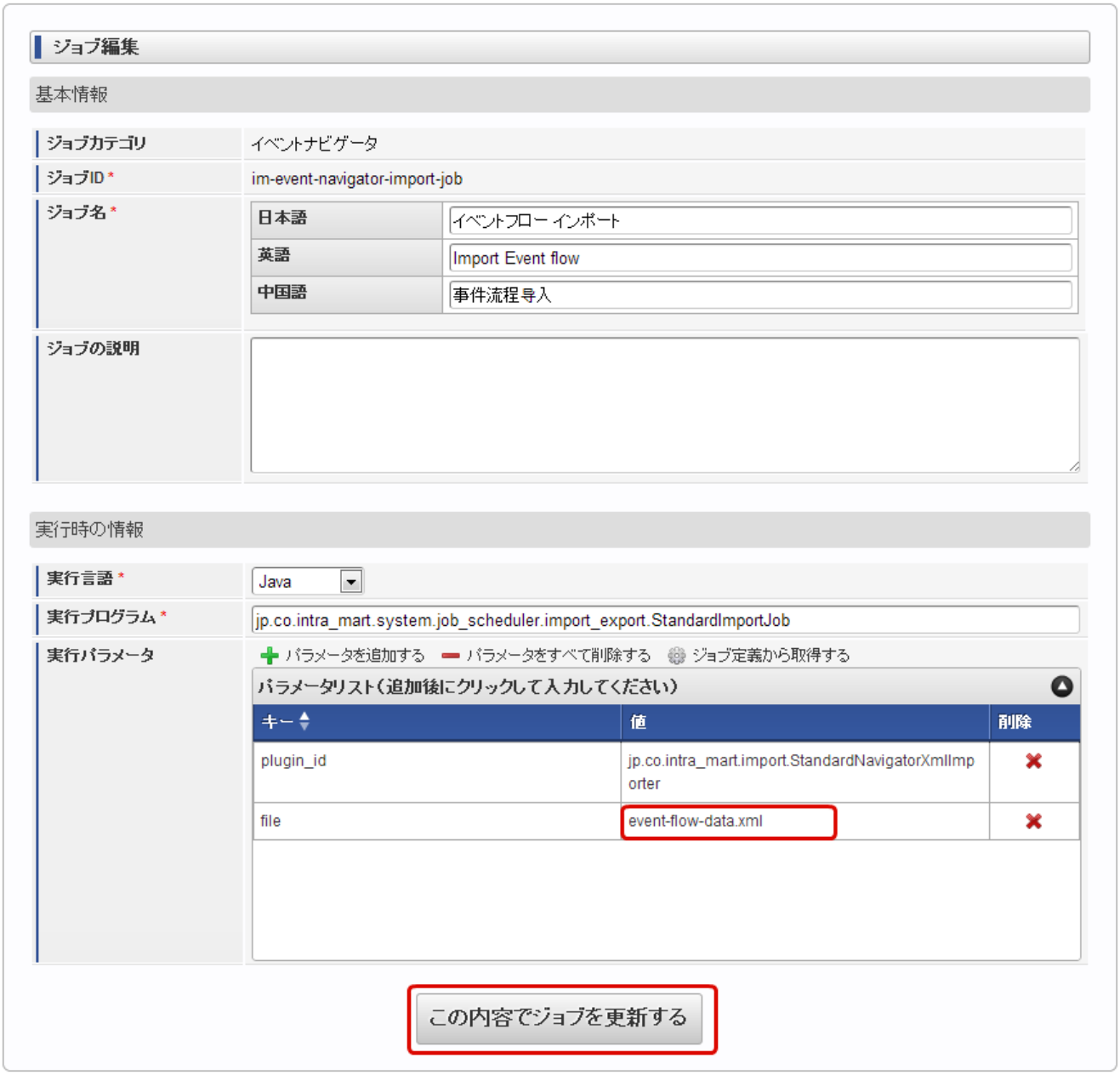


3. 右側に「イベントフロー インポート」ジョブが表示されます。

   「このジョブを編集する」ボタンをクリックします。

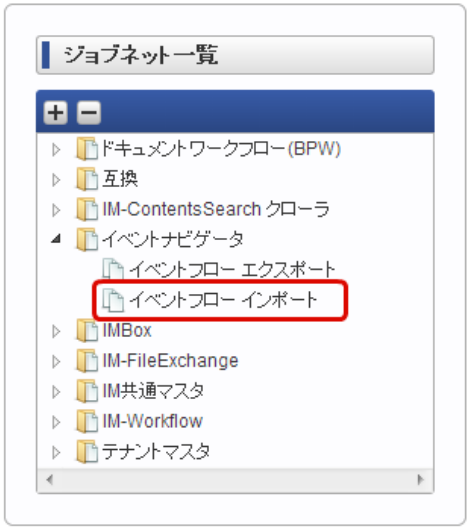
4. 実行パラメータの fileの値にインポートするファイルパスを入力します。
   （ファイルパスはパブリックストレージからの相対パスです。）

   「この内容でジョブを保存する」ボタンをクリックします。



5. 「ナビゲーションバー」-「テナント管理」-「ジョブ管理」-「ジョブネット設定」を選択します。

6. ジョブネット一覧から「イベントナビゲータ」-「イベントフロー インポート」を選択します。

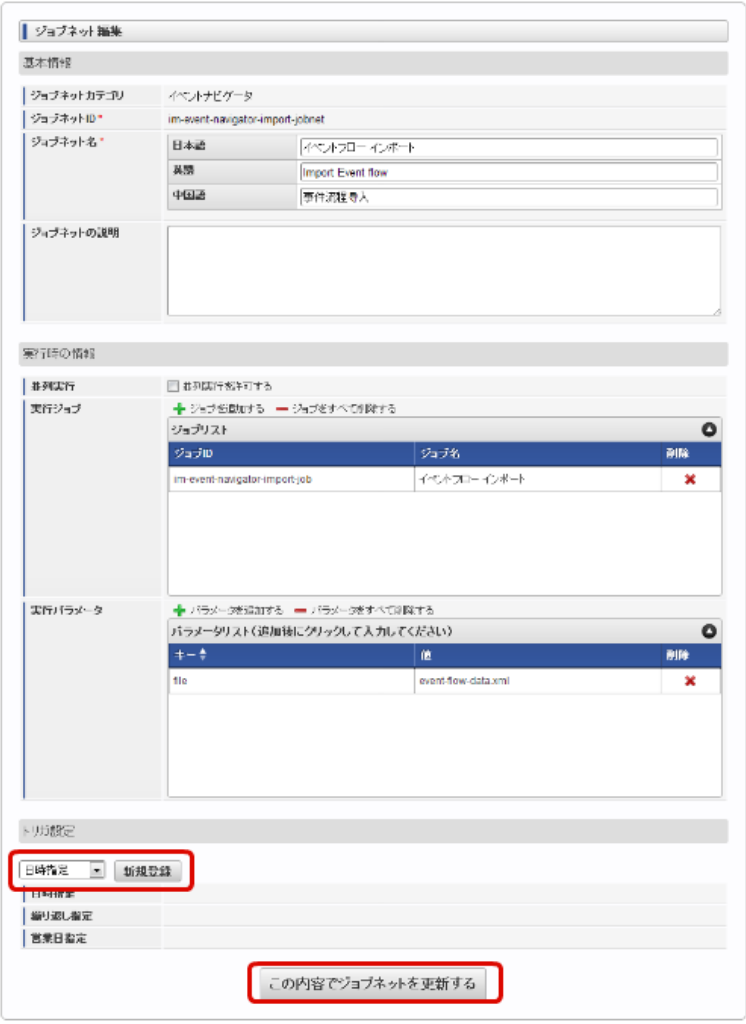


7. 右側に「イベントフロー インポート」ジョブネットが表示されます。

「このジョブネットを編集する」ボタンをクリックします。

8. 「トリガ設定」でトリガーを作成します。
   作成したトリガに「有効」チェックを付けて、「この内容でジョブネットを更新する」ボタンをクリックします。

   指定したトリガ設定によって、ジョブネットが実行され、インポート処理が実行されます。



9. 「ジョブネットモニタ」でジョブネットの実行ステータスを確認してください。